

市議会だより No.44

平成29年2月15日



12月定例議会

議案の概要 P2～P3

一般質問 P4～P10

会派・委員会・協議会名簿 P11

12月臨時議会 P3

議会報告会のまとめ P10

議会日誌 P12

3月定例議会の予定 P12

議会モニター募集中（2月28日まで） 10頁をご覧ください。

平成28年 12月 定例議会

12月定例議会は、12月7日から27日までの会期21日間の日程で開催され、平成28年度一般会計・特別会計補正予算をはじめ、市環境基本計画、市ごみ処理基本計画、市教育委員会委員の選任、特別委員会の設置など、議案13件、選任3件、報告3件、意見書1件を審議しました。主な議案等と審議経過の概要をお知らせします。

「賛否が分かれた議案に対する議員の態度」は10頁をご覧ください。

条例

■市税条例の一部改正

地方税法の改正に伴い、環境性能に応じて、三輪以上の軽自動車の軽自動車税を平成29年度分に限り軽減するものです。

一般議案

■市環境基本計画の変更

市環境保全条例に基づき、平成24年度から平成33年度までの10年間で計画期間とし、平成24年3月に策定された計画を中間年度に見直すものです。

見直しの主な内容は、新ごみ処理施設稼働、新たな分別区分での収集導入による見直し、指標の進ちょく、社会状況の変化による修正などです。



■市ごみ処理基本計画の変更

廃棄物処理法に基づき、一般廃棄物の適正処理などを行うための基本計画で、平成25年度から平成33年度までの9年間で計画期間とし、平成25年3月に策定されたものを中間年度に見直すものです。

見直しの主な内容は、新ごみ処理施設稼働、新たな分別区分での収集開始によるもの、災害廃棄物の処理体制について定めることなどです。

■指定管理者の指定

次の公の施設について、平成29年4月1日からの管理を行う指定管理者が決まりました。

●市身体障害者福祉センター、愛光園、大平園、なかよし園、わかくさ園

指定管理者 社会福祉法人防府市社会福祉事業団（～平成32年3月31日）

●市地域協働支援センター

指定管理者 特定非営利活動法人市民活動さぼーとねっと（～平成34年3月31日）

予算

■平成28年度一般会計補正予算

14億2,041万8千円を増額し、補正後の予算総額を447億7,351万3千円とする予算案が提出されました。

主なものは、消防庁舎への電光表示板設置経費3,100万円、庁舎建設シンポジウム開催経費73万9千円、野島にサテライトオフィス開設企業への補助金交付2664万円、高齢者等外出支援事業182万3千円、保育園の防犯対策等1,085万円、認定こども園の防犯対策等1,907万6千円、中関小学校改築工事3億8,949万8千円、勝間小学校改築事業1億5,014万4千円、大道小学校改築事業1億2,266万5千円です。

この内、電光表示板設置事業は、事業効果と交通安全上の支障がないかの検証が必要であり、それがなされていない経

費は認められないとして、修正削除されました。（賛否No.1）

人事

■監査委員の選任

退任 今津誠一議員（東三田尻一丁目）
新任 田中敏靖議員（牟礼柳）

■固定資産評価審査委員会委員の選任

再任 吉富克史さん（国衛三丁目）
再任 森重真智子さん（大字下右田）
再任 堀越政美さん（本橋町）
再任 中谷美智子さん（大字仁井令）

■教育委員会委員の選任

再任 小松宗介さん（大字田島）
今年度から中学校で使用している育鵬社の歴史教科書は、憲法の不十分な理解やバランスを欠く記述であり、これを選定した教育委員の見識は疑わしく、反対との意見がありました。賛成多数で選任に同意しました。（賛否No.2）

意見書

■地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

議員を厚遇するもので反対との意見もありましたが、次の意見書（概要）を賛成多数で可決されました。（賛否No.3）
「地方創生が重要な政治課題であり、地方議会の役割は重要となり、地方議会

正副議長就任あいさつ



議長
松村 学



副議長
安村 政治

昨年の12月臨時議会におきまして、私どもが議長並びに副議長に就任いたしました。誠に光栄なことでございますが、その重責を全うするにあたり、身を引き締めているところでございます。

さて、「地方創生」とはそれぞれの地域の優れているものを更に引き出し、持続可能な都市を作り上げることでありますが、すべてがそうなるとは限りません。まさに都市間競争を勝ち抜く力が求められています。

また、我々は庁舎建設、超高齢化、生活交通や企業誘致など防府市100年の礎を築かなくてはならない難問を目の前にし、市民全員と議会が一つにならなければ解決することはできません。

市民の皆様との対話を大切に、英知を結集し、千年続く防府市を目指し全力で取り組みますので、御理解と御協力をお願い申し上げます。

議員は、住民の意向をくみとり、執行機関の監視や政策提言等が求められている。都市部を中心に専門化が進み、他方、無投票当選者の割合が高くなるなど、地方議会議員のなり手不足が深刻な問題となり、地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備の早急実現を要望する。」

12月臨時議会

11月27日から新たな議員の任期が始まり、12月1日に12月臨時議会が開催され、議案9件、選挙2件、選任2件、承認1件、報告2件を審議し、議長に松村学議員、副議長に安村政治議員を選出、各常任委員会委員、議会運営委員会委員を選任し、全議案を全会一致で可決しました。議案の概要は次のとおりです。

■非常勤職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正
人事院の国家公務員給与改定に準じ、

一般職員給与を4月にさかのぼり平均0.2%引き上げ、12月の勤勉手当を0.1月分増額し、併せて議員、市長等の特別職、教育長の12月の期末手当を職員の勤勉手当の改定に伴い改正するものです。

■平成28年度一般会計補正予算
平成28年度特別会計補正予算

前記の条例改正による職員等の給与等の改定と職員数変動等に伴う給与等を補正するもので、一般会計では総額1億4,062万3千円を減額し、同額を予備費に回しました。

焦点 電光表示板設置と庁舎建設シンポジウム

12月議会の予算委員会では、消防庁舎への電光表示板設置経費と庁舎建設事業（シンポジウム）について集中審議されました。その質疑の概要を紹介いたします。なお、消防庁舎の電光表示板の予算は修正削除されました。

■電光表示板設置事業

問 事業効果を考え、企業から広告を募集し、表示して、収入を得てはどうか。

答 機器には様々な仕様があり、広告効果が大きいものもあり、予算の範囲内で設置機器の仕様を判断し、電光表示板設置後に広告収入について検討します。

問 現在設置している消防本部外壁での取替えでは、電光表示板の機能がよくなることにより、かえって交通安全上の支障が生じることも考えられる。他都市では、交差点付近での規制をしている例もあり、その設置場所についても慎重に検討していく必要があるのではないかと。

答 新たに見積もりをとった機器は、視認性が高く、ドライバも表示板を瞬時に見ることが出来ます。また、電光表示板と信号機が重なる場所については、地上から高さ10m以上の位置に機器を設置すれば交通安全上の問題も最大限緩和されるかと考えています。

問 景観を考慮する上で、公共の施設に広告等を表示することに
ついて、都市計画課と協議はしたのか。



答 都市計画課で管轄している屋外広告物の規制事務等の関係で、交通安全上の支障や県条例の規制について、協議を行っています。

■庁舎建設事業

問 シンポジウムはどういった目的で開かれるのか。

答 庁舎建設基本構想・基本計画案について、内容の周知をすること、また、庁舎の移転という要素があることから、まちづくりと絡めて、考えを深めていくという趣旨になると考えます。

問 今回のシンポジウムは、まちづくりという視点で行われると考えるが、庁舎建設基本構想・基本計画検討委員会の外部検討委員会で協議された、防災拠点や経済的合理性等についての話はするのか。

答 シンポジウム冒頭に、庁舎建設基本構想・基本計画案の説明をする中で、防災等についても説明をいたします。

問 冒頭の説明の中で、庁舎の候補地については、外部検討委員会の選定であつて、決定ではないということはきちんと説明するのか。

答 議員御提案のよつに、付け加えて説明したいと思えます。

要望 シンポジウムは、議会の理解が得られる進め方をしたいとさせていただきます。

Q&A

一般質問



12月定例議会では、18名の議員が市政について質問しました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を2月に製本しますので、市役所1号館閲覧コーナー、防府図書館をご覧ください。また、防府市議会のホームページでも会議録を見ることができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。

「教育のまち日本一」を目指す 防府市の教育について

橋本 龍太郎(自由民主党清流会)

- 問** 教育のまち日本一を掲げる防府市。今後の子どもたちのあるべき姿は。
- 市長** 市としては主体的にたくましく生き抜く力、豊かな人間性を備えた人材の育成を支援。私人人としては、志を持った子供たちを育てたい。
- 問** 道徳教育、偉人教育で具体的なお手本また山口に誇りを持ってもらうために、県ゆかりの人をモデルにしては。
- 教育長** 市は平成21年度から地域にゆかりのある人物や自然・文化などを学ぶことのできる資料集を作り、活用している。
- 問** 近代史を抜粋しての歴史教育を。
- 教育長** 各校において、国や人を愛することのできる歴史教育を実施していきたい。
- 問** 修学旅行などで平和を保ち続ける大変さを学ぶ教育や一次産業の体験学習が必要なのでは。
- 教育長** 平和学習に関する修学旅行を実施する際には、戦争に至るまでの様子などを総合学習を通じて事前学習している。また、農業体験等は多くの小学校で実施している。
- 問** 主権者教育で若い世代が自分の問題として捉えるため、市長や議員が学校で政治に対する出前講座を行っては。
- 教育長** 政治的中立性を確保するという観点から、現段階では考えていない。
- 問** 政治意識の高揚のためにも、高校への臨時期日前投票所を設置できないか。
- 選挙管理委員会事務局長** 全国に数えるほどしか例がなく、ネットワーク構築、安全対策などハードルが高い。



中小企業支援センターの創設、ふるさと納税制度の活用、美しいまちづくり～落ち葉の清掃～

今津 誠一(自由民主党市政会)

- 問** 富士市の産業支援センター f・Biz は、優れたセンター長とスタッフを配置し、中小企業が目線に立って適切な指導、助言を行い、括目すべき成果を上げている。センター長の小出氏は、小出メソッドを活用し、全国の中小企業の振興を図るため、全国に f・Biz の姉妹センターを創設することを画策し、実行しておられる。防府市に、f・Biz の姉妹センター H of u・Biz を創設するため、手を挙げていただくことを強く求める。
- 市長** 創設には大きな財政負担を伴うので、知恵を出す必要がある。先進市から教えを乞いながら、早期に結論を出してまいりたい。
- 問** ふるさと納税の寄附金を増やすために、返礼品の拡充を提案した。平成28年、85品目に拡充し
- 問** たことが奏功し、寄附金は、現在過去最高を記録し、1,000万円を超えている。しかし、まだのびしろは大きく、Oが一つ足りない。返礼品を200品目に増やし、寄附金の増額を目指してほしい。
- 総合政策部長** 200品目にするため、関係者と連携し推進してまいりたい。
- 問** 街路樹等の落ち葉は、街の美観を損なう。吸引機や噴射機を活用し、効率よく清掃し、美しい景観を維持してほしい。
- 市長** 必要な機械の台数を確保し、パッカー車による収集運搬作業を行うことを検討したい。



防府市のグランドデザイン、 公民館建設について

牛見 航つな(自由民主党清流会)

問 市民や有志が目指すべき防府市のグランドデザイン、ビジョンを伺う。

市長 本市では、「第四次防府市総合計画防府まちづくりビジョン2020」を策定しているが、本格的な人口減少社会突入に伴い、この課題に正面から向き合い、地域創生の実現に取り組みたいという。

問 未来に向け、最優先で防府市が取り組むべきものを具体的に伺う。

市長 総合戦略に掲げる諸事業の成果を着実に上げていくこと。5つの基本目標を掲げているが、それらの取組により「産み育む」「学ぶ」「働く」「住む」「創る」の好循環を形成していくこととなり、防府の未来を担う人材を育み続けていく。

ことだったが、若い世代へ市長の意志を受け継ぐ過渡期に来ていいると思われ。後進のためにも、市長のお考えを教えてください。

市長 「忍耐力」だと思つた。公民館建設について防府市の考えを伺う。

教育部長 災害のリスクが少なく、活性拠点として利便性の良い地域の中心部に近いことが重要になると考えている。

要望 地元小野地区においても公民館移設協議が行われているが、場所の選定など一長一短有り、非常に難しい決断になると思う。選定にあたっては、事前にしっかりと地域住民に説明され、地元民の声をしっかりと聞いていただいた上で、責任を持って決断いただきたい。

問 「市長として求められる資質とは何か」「若い世代に向けた事業の取組、人材育成が重要との



新庁舎建設は、場所も含め、 市民の意見を聞くべき！

山田 耕治(絆)

問 現庁舎の老朽化や耐震性を考えれば、早期に建て替えることが最優先と考えるがどうか？

市長 大事業で、まちづくりの展望や将来構想をも見通すことのできるものと考えている。

問 平成27年度に実施したアンケートの分析は？

市長 「庁舎の場所を考える上で重要視すること何か。」との回答結果は、「駐車場の確保」、次に「防災面での安全性」と続く。この結果から、平常時のアクセス性に優れ、非常時にも機能する庁舎のイメージが浮かび上がったと思つている。

問 現庁舎に勤務している職員へのアンケートは？

市長 考えていない。

問 議員有志が市民に対してアンケートを実施。7割が現有地、2割が駅北公有地エリア、1割がわからないという結果をどう捉えているか？

市長 一つの情報として受け止めている。

問 外部委員会では、防災拠点として現有地の方が大きく有利であると示しているが？

総務部長 熊本大地震で、車での避難を考えると、広い土地の方が優位。

問 駅北公有地エリアでの職員の駐車場は？

総務部長 現時点では確保できていない。

要望 私自身もアンケートを実施。市内の方で分析すると、約97%の方が現庁舎敷地、約1%の方が選択なし、駅北公有地エリアは約2%。要望で「市民の声をしっかりと聞いてください。」等の意見が多かった。市民が納得する説明を願う。

市長 考えていない。

問 議員有志が市民に対してアンケートを実施。7割が現有地、2割が駅北公有地エリア、1割がわからないという結果をどう捉えているか？



4,100人を対象にアンケート実施!!

市庁舎の建て替えについて 入札制度について

曾我 好則(自由民主党)

問 市庁舎建設基本構想・基本計画検討委員会では、極めて重要な項目を示さないうちに「駅北」を選定したが、長所・短所を精査した上で市民に示すべきだが。

市長 具体的な検討は次のステップで実施し、詳細な項目は検討委員会とは別の勉強会で討議した。

要望 現有地と駅北の両方の案を示すべき。

問 市の未来を左右する大型プロジェクトの委員に16名中、専門家が3名は少ないのではないか。

市長 偏りのないよう多様な分野から選出。次のステップでは新たな専門家に入っていたたく。

問 大型プロジェクトのルルサスは有効活用されず、図書館などの負担金はいくらか。また評価は、

市長 約1億3千万円であり、全国的にも中心市街地を活性化させた成功事例と高い評価を得る。

要望 私とは全く認識が違つ。市庁舎の建て替えでは生かしてほしい。

問 本市の入札において、最低制限価格制度は県よりも2%落札率が低い。県にはない最低制限基準価格を廃止しては。

入札検査室長 すぐに廃止する予定はないが、建設業界と連携を図りながら適正な運営に努めたい。

問 入札募集情報の工期は何月何日限りとなり、これで入札を見送る業者もいる。勘違いしない対策が必要ではないか。

入札検査室長 当初契約の変更はできないが、その後の状況で変更は可能。記載方法は検討する。

問 本市の指名競争入札では施工実績が不要であり、これでは不適格業者の受注が可能であるが。

入札検査室長 本市の経営審査の格付けにより、不適格業者の受注はないと考える。

市長 約1億3千万円であり、全国的にも中心市街地を活性化させた成功事例と高い評価を得る。

入札検査室長 本市の経営審査の格付けにより、不適格業者の受注はないと考える。

発達障害者支援法改正後の取組を 学校トイレの改修を

高砂 朋子(公明党)

問 発達障害者支援法が改正、平成28年8月施行。以下の点について伺う。
 ①乳幼児期の早期の気づき・早期支援のための取組状況は。②専門員が保育所等を巡回し、保護者へ助言する巡回支援専門員整備事業、家族支援強化のためのペアレントメーター、ペアレントトレーニング、ペアレントプログラムへの導入を。平成29年度開設予定の児童発達支援センターの概要は。③乳幼児期から青年期までライフステージに応じた教育・福祉・医療・就労等の支援を切れ目なく行うことが重要、今後の取組は。

機関への受診勧奨、通級指導教室幼児部の案内、5歳児発達相談会等、早期支援に努めている。②各取組の役割は今後重要、強化進展してまいりたい。平成29年度より、なかよし園を定員20名に増員し、児童発達支援センターに移行、相談支援業務を充実させていく。
③ライフステージに応じた各機関と連携し支援。
要望 ①市内小・中学校トイレ洋式化、バリアフリー化の更なる推進、②防災・地域交流にも必要であり、老朽化の進む屋外トイレの改修整備を。



佐波小学校の屋外トイレ

団員確保策で消防団応援事業の実施を 分団員への対価支給は個人振込みで

三原 昭治(絆)

問 消防団員の減少が全国的に問題となっており、防府市の状況と対策は。団員報酬の支給取扱いが来年度から個人振込みに変更される理由は。
市長 平成28年4月現在、定数408人に対し、405人で充足率は約99.3%。報酬の振込みはセキユリテイ対応した。
問 45歳以上の団員が全体の44%を占めているがどのように分析するか。
消防長 若い人の入団が少なくなっており、少子高齢化の影響ではないかと考えている。

問 団員の居住地以外の所属入団は機能的、実働性に欠けるのでは。
消防長 本来は所轄の分団に居住していることがふさわしいと思っており、検討していきたい。
問 団、団員を補完する機能別団員・分団を取り入れるべきでは。
消防長 調査研究したい。

問 消防団員の確保策として、団員と家族への商品割引などの優遇サービスを行い支援する「消防団応援事業」の導入を。
消防長 他市の事例を参考にし、独自の方法について検討していきたい。
問 報酬などは分団の通帳に入れ、いわゆるプールされて活動費として必要時に団、団員のために使われているというが、どう思うか。
消防長 本来であれば、労務対価であり、個人に支給されるべきと考え、自分たちのお金という認識には全く悪いとは思っていない。しかし、会計処理的には間違っている。また、他の解積からすれば、とんでもない案件に発展する可能性がある。すべて個人振込みにすべきでは。
消防長 是正し、個人支給にしていきたい

中学校卒業までの医療費無料化を 情報公開条例の改正を

山本 久江(日本共産党)

問 現在実施されている小学校6年生までの医療費無料化制度を中学校卒業まで拡充できないか。
市長 制度の拡充は必要との認識に変わりはないが、他事業との優先順位を考え、実施方法や開始時期を検討していく。なお、市長会を通じ、国へ子ども医療費の助成制度創設を要望している。
問 出産後の母親が、育児への不安や重圧で精神的に不安定になる産後うつは約10人に1人が経験するといわれ、その予防の取組が重要であるが、市の取組はどうか。
市長 産後うつ予防は、虐待予防・子育て支援の観点から重要と考えている。関係機関と連携し、妊娠前から切れ目のない支援を行いたい。

問 子育て世代に対し、住宅リフォーム助成制度の拡充を検討できないか。
市長 これまでの住宅リフォーム助成による個人消費を促す効果と、新たに子育て家庭への経済的支援という二つの相乗効果を期待できると思うが、制度導入及びその効果について慎重に調査研究したい。
問 市情報公開条例第5条(請求権者等)で、「何人」にも請求権を認めるよう改正できないか。また、第20条(出資法人及び指定管理者への要請)についてはどうか。
総務部長 第5条は、条例改正及び改正した場合の業務体制のあり方も含め検討したい。また、第20条は、その公共性から市民の信頼を確保し、市政の透明性を高めるためにも重要であり、改正に向けて準備したい。



道路行政について 華城小学校の校舎整備について

藤村 こそえ（自由民主党市議会）

問 平成27年7月、都市計画道路松崎植松線は石が口から伊佐江町まで延長1・5kmが部分供用開始された。このことにより、広域的な幹線道路として交通の流れが大きく転換され、通過交通が市道三田尻西浦線へ流れ込み、華城小学校前の交通量は以前よりも大幅に増加した。児童の通学、生活道路の安全確保のため、残区間の青果市場までの残り1・2kmの整備が急務と考えられるが、せめて華城小学校前の交通量軽減のため、現在の

終点部から小学校東側の市道小徳田野地線まで400mについて工事を延長し、それから北に向かって小学校西側の信号交差点まで道路整備されれば現状の不完全なネットワークは大きく改善されると思うが、今後の整備計画について伺う。

市長 松崎植松線について

では優先して整備するところが必要な幹線道路である。まずは、比較的家屋の少ない市道本橋八河内線から市道小徳田野地線まで400mについて、交通量調査を実施し事業実施について早期に取り掛かるべく検討する。

問 華城小学校校舎は老朽化が激しく、危険箇所も多く見られるが、今後の対応について伺う。

教育長 外壁改修工事については早急に対応してまいる。教職員用トイレについても対応を検討している。

問 今年も多くの実業団陸上関係者が本市に合宿に訪れているが、おもてなし対策は。

総合政策部長 これまで以上に快適な練習環境の提供に努めてまいる。



国民健康保険料の引き下げを 地域公共交通の充実を

清水 力志（日本共産党）

問 防府市の国保料は県内でも低い水準だが家計における負担は大きい。更なる工夫で1世帯あたり1万円の引き下げを。

生活環境部長 国民健康保険は、財政基盤は極めて厳しく、平成27年度決算で実質単年度収支が赤字となった。平成30年度から財政運営の主体が市から県へ移り、保険料の増額が懸念される。今後

も現行水準の維持が必要と考えており、財源として国保会計の繰越金や基金を有効に活用していきたい。

問 均等割の金額を見直すことにより、国保料を引き下げることができないのではないか。

生活環境部長 将来、改正となった際には全体の中で検討したい。

問 地域公共交通の今後の計画は。

市長 平成29年度中に地域公共交通網形成計画を

策定。調査事業として、医療機関や商業施設などを巡る循環バスの実証運行を計画しており、交通事業者や警察、沿線の施設運営者等と協議し、ルート設定や乗降場所の選定など調整を進めている。

問 高齢者外出支援事業の今後の取組は。

市長 高齢者外出支援事業は大幅に見直し、平成29年度から新たな制度に移行する。支援内容は、タクシー利用の場合、1,000円以上のときは2割相当の助成券として利用できる。移動距離に応じた支援の仕組みは、県内初の試みとなる。



山口市のコミュニティバス

市役所の雰囲気・嘉義市との交流 コミュニティバス等 計7項目

石田 卓成（自由民主党）

問 新市庁舎建設について、強引に進めるのではなく、現在地と駅北の両方の計画を示した上で、市民の声を聴くべきではないか。

市長 強引とは考えていない。市民の声を聴くことには異論はない。

問 お店も病院も金融機関もない中山間地域の方々が生活難民にならないよう、山口市や宇部市のようにコミュニティバスを走らせてほしい。

総合政策部長 地域公共交通網形成計画の平成29年度中策定を目指す。

問 市職員が萎縮せず活き活きと提言できる雰囲気をつくってほしい。県や国との縦の人事交流だけでなく周辺他市との人事交流をし、良い雰囲気を持ち帰ってほしい。

市長 取組を模索する。

問 地域農業は危機的な状況である。山口市のように農機具導入時の各種

補助事業の周知を対象の担い手全員にしてほしい。

産業振興部長 周知徹底に努めていく。

問 遠隔地からのUターン者向けに、借家と農地の情報を市のホームページにセットで紹介してほしい。

総合政策部長 検討していく。

問 大規模災害に対応できるよう、消防通信指令システムの県内共同運用を目指し、県市長会での議論を再開してほしい。

消防長 必要となった場合には協議を行っていく。

問 陳澄波の油絵を福岡アジア美術館から持ち帰り、台湾嘉義市との国際交流を促進させてほしい。



陳澄波の油絵

待機児童問題について 「コミュニティビジネスについて」

久保 潤爾(無所属の会)

問 防府市の待機児童数は何名か。

市長 平成28年10月現在で、0歳児が7名、1歳児が1名の合計8名である。

問 待機児童問題をどのように捉えているか。

市長 子育て世代の不安を増大させるものであり、解消への取組が必要であると認識している。

問 待機児童が発生した主な要因をどのように考えているか。

市長 女性の社会進出に加え、勤務形態の多様化による短時間勤務への女性就労者の増加等による保育需要の高まりの一方で、保育士の不足がその原因と考えている。

問 保育士の人材バンクをつくってはどうか。

健康福祉部長 他自治体の成功事例等を参考にしつつ、保育協会とも相談しながら取り組んでいきたい。



待機児童の解消を!

問 多様化する行政需要への対応、また地域問題の解決のために、「コミュニティビジネス」の推進を行うことをどう考えるか。

総合政策部長 雇用により担い手不足を解消し、継続して地域課題に対応することができるとして、課題解決の有効な手段であり、地域活性化につながるものと考えている。

要望 地域住民が危機感を持ち、主体となって課題に取り組み機運の醸成を図っていただきたい。

運動広場の設置について 耕作放棄地について

和田 敏明(改革)

問 前回の質問から3年経過した。私なりに適地を探し提示したが、現在、どの様に検討されたか。

市長 ワークショップを実施し、必要と思う公園や運動広場などの規模や施設の内容、設置場所など幅広く意見を頂くこととしている。

問 前回、「市全体のバランスを考えて検討する」との答弁であったが、市の北部に位置する地域の現状を見て、市全体のバランスを考えた結果と言えるのか。

副市長 様々検討をしているが思うようにいかず前に進んでいない。農用地の活用も考えている。

問 農用地を活用すれば更に時間がかかる。球技等ができる場所は限られている。場所の確保だけでもできないのか。

市長 北部地域は十分な状況と思っていない。「なんとかならなくてはならな



い」と強く思う。

問 地域の意見を伺うとのことだが、いつを目標に進めるのか。

土木都市建設部長 平成29年度に説明会なりワークショップを行う。

問 耕作放棄地の今後の対策・多面的機能支払交付金を活用して、耕作放棄地の解消等にも適用する方法は無いのか。

産業振興部長 多面的機能支払交付金活動に取り組まれる活動組織の新規設立や拡大などを積極的に支援する。新たな制度の導入を国・県に強く要望していく。

その他の質問項目
◆耕作放棄地の推移と周囲に及ぼす影響

子どものスマホ対策は地域ぐるみで 市のグローバル社会への対応

河村 孝(公明党)

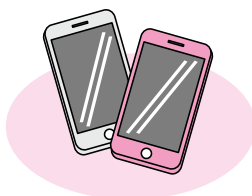
問 子どものスマホの問題は、家庭だけではなく、家庭・学校・地域の連携が大事。地域の方への啓発活動による地域一体型の対策を。

市長 市教育委員会から山大教育学部への委託事業「情報モラル教育」で情報モラル教育の教材を作成中。平成29年度の「人権学習市民セミナー」は、「インターネット社会の人権」と題して開催する。子どもたちを守るために、大人が毅然とした姿勢を示すべき。今後、総合教育会議等を通じて教育委員とも話し合う。

問 スマホ購入理由の一つに、子どもが学校から保護者への連絡用と聞くが、学校に公衆電話はあるのか。

教育長 全ての小・中学校にあり、特別な事情がある場合以外はスマホの持ち込み禁止。放課後も含め、学校では教職員を

介して保護者と緊急連絡が取れる体制がある。



問 海外からの移住者の増加に伴い、市内でも外国人に接する機会が増えてきた。近隣の方との生活上のトラブルも起こってきている。市役所での相談窓口の設置、ホームページでの対応等、市全体としてのグローバル社会への対応状況は。

総務部長 外国人の勤務先企業への市政情報の広報、相談体制を構築するなど、サービスや利便性向上へ向けて、サポートができるように研究していきたい。

期日前投票について 山頭火ふるさと館について

山根 祐二(公明党)

問 平成28年11月の市議会議員選挙の期日前投票の実施状況について伺う。

選挙管理委員会事務局長(以下、「局長」) 6日間で合計12,716人、前回より172人増加した。全投票者の4人に1人が期日前投票を行った。

問 本市の期日前投票の問題点は何か。

局長 会場は市役所本庁舎4号館2階の1カ所のみだが、本庁以外では事務局との連絡体制が困難、宣誓書の記入等で時間が長くなるのが難点だ。駐車場は通常業務もあり、専用駐車場確保は難しい。土曜日は駐車場に案内の職員を配置した。

問 今後改善すべき点は。

局長 高齢者等に対する待合場所の検討、入場券ハガキの宣誓書への事前記入の徹底、特定の時間に集中しないように広報する、県内他市の取組状況を視察するなど適切に

対処していく。また、次回

の市議会議員選挙までに投票管理システム導入を検討する。

問 投票管理システム導入で複数の投票所設置が可能となるのか。

局長 順次、増設を考えていきたい。

問 うめてらす駐車場利用状況と山頭火ふるさと館開館後の混雑の対応は。

市長 現在、33台分を確保しているが土・日、祝日等は、駐車できない状態が続いている。山頭火ふるさと館を開館する中で、周辺に観光客の駐車場を設置していく方向だ。

問 整備予定の駐車場の規模、台数はどうか。

産業振興部長 大型バス2台、普通車33台、軽自動車15台を考えている。



障害者就労支援、企業誘致について

吉村 弘之(自由民主党)

問 市内の障害者の就労人口は。

健康福祉部長 ハローワーク防府に登録している障害者1,056人のうち、635人が働いている。

問 障害者総合支援法に基づき支援の実績は。

健康福祉部長 就労継続支援B型288人。市内外の事業所で働いている。

問 山口県工賃向上計画に基づく市の取組状況は。

健康福祉部長 物品・役務の調達方針を定め対応しているが、工賃の向上まではできていない。

問 市内の障害者施設の就労支援策と今後の取組は。

健康福祉部長 市地域総合支援協議会の就労支援部会を通じて、企業の理解促進や啓発、課題解決などを図ってきたい。

問 今後の企業誘致への展望は。

市長 J-T防府工場跡地

の防府テクノタウンは、積極的に誘致活動を展開し、早期の売却に努める。

また、浜方・江泊・新田などに大規模な未利用地があり、県とも協力して情報発信や土地需要の情報収集を進めたい。

問 市の都市計画マスタープランの見直しに、企業誘致の項目をどう盛り込むのか。

市長 まだ素案を示す段階ではないが、土地利用を促すため、面的な基盤整備の導入を考慮しながら、工場立地候補地を示す方向で調整した。



防府テクノタウン

公契約条例・都市計画道路の整備 青少年科学館の整備充実を

田中 健次(市民クラブ)

問 市の公契約(建設工事・業務委託など)において、労働者が適切な労働条件等を確保するため、公契約条例等を制定することが必要ではないか。

入札検査室長 労働条件の向上や労働環境の整備については、国・県、他自治体の動向を注視し、調査・研究したい。

問 現在、都市計画道路の事業着手路線はどこか。

土木都市建設部長 現在の着手の路線は、①国事業の富海地区国道2号拡幅、②県事業の牟礼地区環状1号線と戎町迫戸線、③市事業の牟礼地区の松崎牟礼線である。

問 松崎牟礼線の西側部分は、どのような方針か。

土木都市建設部長 この路線の華城地域未整備区間は、優先的な整備が必要な路線であり、華城小

までの約400mの区間の整備を検討したい。

問 平成30年に開館20周年を迎える青少年科学館は、生物、地学等の準備スペースが十分でないと言われており、施設の整備充実を検討すべきでは。

市長 来館者の好評を得ているが、展示室や準備室等の余裕がなく手狭との声も聞くので、施設の運用方法も見直し、科学館のバージョンアップに向け、指定管理者と協議を進める。



青少年科学館

その他の質問項目

◆都市計画道路の整備状況、環状1号線の佐波地域側部分の整備

◆青少年科学館は生涯学習施設として教育委員会の所管に戻すべき

会派・議会運営委員会・議会改革推進協議会名簿

会派名	人数	所属議員名 (◎代表者)	議会運営委員会 (任期1年) (◎正副委員長)	議会改革推進協議会 (任期2年) (◎正副会長)
自由民主党	6	◎吉村弘之 石田卓成 上田和夫 曾我好則 松村 学 行重延昭	曾我好則 ◎吉村弘之	石田卓成 ◎吉村弘之
自由民主党 市政会	5	◎清水浩司 今津誠一 宇多村史朗 田中敏靖 藤村こずえ	宇多村史朗 藤村こずえ	今津誠一
自由民主党 清流会	4	◎橋本龍太郎 牛見 航 河杉憲二 安村政治	○牛見 航 橋本龍太郎	牛見 航
公明党	3	◎山根祐二 河村 孝 高砂朋子	山根祐二	○高砂朋子
絆	2	◎山田耕治 三原昭治	三原昭治	山田耕治
日本共産党	2	◎山本久江 清水力志	山本久江	清水力志
改革	1	◎和田敏明		和田敏明
市民クラブ	1	◎田中健次		田中健次
無所属の会	1	◎久保潤爾		久保潤爾

※会派は、主として政策に関して同一の理念を共有する議員が集まってつくる集団です。この会派を中心に議会活動をしています。

※防府市議会では、現在9の会派が構成されています。

常任委員会名簿 (任期2年)

委員会	委員数	所属委員名 (◎委員長、○副委員長)	所管事項
総務	8	◎橋本龍太郎 ○清水浩司 石田卓成 高砂朋子 三原昭治 安村政治 山本久江 吉村弘之	防災・企画・財政・文化・スポーツ・消防・選挙など
教育民生	9	◎山根祐二 ○藤村こずえ 上田和夫 河杉憲二 久保潤爾 清水力志 田中健次 田中敏靖 松村 学	税務・戸籍・環境・健康・福祉・教育・文化財など
産業建設	8	◎行重延昭 ○曾我好則 今津誠一 牛見 航 宇多村史朗 河村 孝 山田耕治 和田敏明	産業・観光・道路・上下水道・競輪など
予算	24	◎河杉憲二 ○和田敏明 議長を除く全議員	一般会計予算

特別委員会名簿

委員会	委員数	所属委員名 (◎委員長、○副委員長)	設置目的
総合交通 体系調査	12	◎山田耕治 ○清水浩司 石田卓成 上田和夫 宇多村史朗 久保潤爾 清水力志 橋本龍太郎 安村政治 山根祐二 行重延昭 和田敏明	主要幹線道路網整備、海上交通、生活交通及び環境に配慮した交通手段も含めた総合交通体系の諸問題について調査研究する。
庁舎建設調査	13	◎吉村弘之 ○高砂朋子 今津誠一 牛見 航 河杉憲二 河村 孝 曾我好則 田中健次 田中敏靖 藤村こずえ 松村 学 三原昭治 山本久江	市庁舎の現状及び課題を把握するとともに、まちづくり、地域経済等に大きな影響を及ぼす庁舎建設の在り方について調査研究する。

※特別委員会は、必要に応じ特定の事項を審査するために設置される委員会で、その問題の審査が終われば、委員会は消滅します。

なお、決算の認定時には、一般・特別会計決算特別委員会、上下水道事業決算特別委員会が設置されます。

議会日誌

11月

- 6日 防府市議会議員一般選挙告示
- 13日 防府市議会議員一般選挙投票
- 28日 新人議員説明会
- 29日 全員協議会
- 30日 会派代表者会議

12月

- 1日 臨時議会
会派代表者会議
全員協議会
- 2日 議会運営委員会
勉強会
- 7日 12月定例議会開会
全員協議会
広報編集委員会
議会改革推進協議会
- 12日 本会議(一般質問)
- 13日 本会議(一般質問)
- 14日 本会議(一般質問)
- 15日 本会議(一般質問)
議会運営委員会
- 16日 予算委員会(全体会)
会派代表者会議
議会改革推進協議会
- 19日 常任委員会・予算分科会(総務・教育民生・
産業建設)
- 21日 予算委員会(全体会)
全員協議会
議会運営委員会
- 27日 12月定例議会閉会
広報編集委員会



1月

- 6日 議会改革推進協議会
防府音楽祭オープニング街角コンサート
(議場)
- 13日 広報編集委員会
- 18日 議員研修会
庁舎建設調査特別委員会
- 24日 広報編集委員会



議員研修会(1月18日)

3月定例議会の予定

- 2月 24日 本会議(開会)
予算委員会(全体会)
- 27日 常任委員会・予算委員会分科会(総務・
教育民生・産業建設、現年度分)
- 28日 予算委員会(全体会・採決)
- 3月 2日 本会議(現年度採決、市長施政方針等)
- 6日 本会議(一般質問)
- 7日 本会議(一般質問)
- 8日 本会議(一般質問)
- 10日 本会議(一般質問)
- 13日 予算委員会(全体会)
- 14日 常任委員会・予算委員会分科会(総務)
- 15日 常任委員会・予算委員会分科会(教育
民生)
- 16日 常任委員会・予算委員会分科会(産業
建設)
- 22日 予算委員会(全体会・採決)
- 27日 本会議(閉会)

会議の開会時刻は、午前10時です。

なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL (0835) 25-2182

編集後記(表紙の説明)

今年の市議会だよりの表紙では、議会・議員の様々な活動を紹介していきます。

今回の表紙は、1月6日に開催された議場コンサートの様子です。市民の皆様には議会を身近に感じていただけるよう、防府音楽祭街角コンサートの会場のひとつとして平成26年から始まりました。

この催しも4回目となり、今回はフルート、クラリネット、オーボエ、ファゴット、ホルンによる木管五重奏で、クラシックの他、親しみやすい日本の曲が演奏されました。

この市議会だよりは、議員がみずから編集する形で発行を始め、今年で12年目になります。全議員が、4年間の任期中に1度は議会広報の編集に携わるよう取り決めており、今年発行の市議会だよりは、新人議員2人を含む左記のメンバーで編集いたします。

市議会と市民のパイプ役となり、市民の皆様にも親しまれ読みやすい紙面となるように努力して参ります。読まれた感想などを是非お寄せ下さい。

議会広報編集委員会

◎田中健次 河杉憲二

○石田卓成 清水力志

今津誠一 山田耕治

上田和夫

(◎委員長、○副委員長)